

1. 広東省

1. 省党第11期第8回全体会議の開催

●20日午前、上記会議が開幕した。同会議の主な任務は、第18期六中全会、習近平・総書記の重要講話の精神を深く学習・貫徹し、本年の広東省の主要業務について総括し、全面的に厳格に党を治めることに関する業務を手配し、広く省全体の幹部・群衆を動員し、習近平同志を核心とする党中央の周囲で緊密に団結し、各事業、全面的に厳格に党を治めることに関する業務の新たな局面を切り開いていくよう努力することである。胡春華・省党書記が第1回全体会議を主宰するとともに、省党常務委員会を代表し業務報告を行い、「全面的に厳格に党を治めることを深く推進することに関する広東省党委員会の決定」について説明（11月21日付『南方日報』）。

●21日午後、上記会議が閉幕した。胡春華・省党書記が第2回全体会議を主宰するとともに、総括の講話を行い、次のように強調した。思想と行動を全体会議の精神に迅速に一致させ、全体会議で確定した各任務を実現することに力を集め、全体会議の政策決定・手配を真に実行に移し、断固変わることなく全面的に厳格に党を治めることを深めていかなければならない（11月22日付『南方日報』）。

●22日午後、黄龍雲・省人代常務委员会主任主宰の省人代常務委員会党組織拡大会議が開催され、省党第11期第8回全体会議の精神を伝達・学習した（11月23日付『南方日報』）。

●22日午後、王栄・省政協主席主宰の省政協党組織拡大会議が開催され、省党第11期第8回全体会議の精神を伝達し、それを貫徹・実行するための意見について検討した（11月23日付『南方日報』）。

2. 朱小丹・省長がスリランカ元大統領と会談

●23日晚、朱小丹・省長が広州市でスリランカ元大統領と会談し、同国と広東省の各分野における友好・実務協力の更なる強化について意見交換を行なった（11月24日付『南方日報』）。

3. 国家海洋局と広東省が協力枠組み協定に署名

●24日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長、王宏・国家海洋局長立会いの下、鄧海光・副省長、房建孟・国家海洋局副局長がそれぞれ省政府、国家海洋局を代表し、「海洋に強い広東省の建設を共に推進していくための協力を更に深めることに関する枠組み協定」に署名した（11月25日付『南方日報』）。

4. 2016年中国海洋経済博覧会の開催

●24日、湛江市で上記博覧会が開幕し、朱小丹・省長、王宏・国家海洋局長、タイ国会農業・農協委員会副委員長が開幕式に出席するとともに、挨拶を行なった。鄧海光・副省長が開幕式を主宰。同博覧会は「イノベーション・グリーン・開放・協力」をテーマとし、タイが初めて「主賓国」として招かれた。53か国が同博覧会に参加し（前年比23%増）、海外企業は239社（前年比102%増）、全体では2,300数社が出展した（11月25日付『南方日報』）。

5. 省党常務委員会議の開催

●25日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、「珠江デルタ地域と省東西北部地域の全面的なペアリリング支援を深めていくための業務に関する意見」、「新たな情勢下における党校業務の強化・改善に関する実施意見」について審議し採択（11月26日付『南方日報』）。

6. 第7回広東現代農業博覧会の開催

●25日、広州市琶洲パビリオンで上記博覧会が開幕し、同日午後、朱小丹・省長が会場を訪れ、同博覧会の状況を視察（11月26日付『南方日報』）。

7. 胡春華・省党書記が韶関市、清遠市を視察

●25日～26日、胡春華・省党書記が韶関市、清遠市を視察し、省東西北部地域における末端の医療・衛生への資源投入を増やし、そのサービス能力と水準を適切に向上させなければならないと強調した。鄧海光・副省長等も視察に同行（11月27日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 袁援平・国務院華僑事務弁公室主任が広州市を視察

●20日、袁援平・国務院華僑事務弁公室主任が広州市増城区を訪れ、「僑夢苑」の進捗状況を視察するとともに、全国「僑夢苑」建設推進交流会を主宰し、その後、任学鋒・市党書記と懇談・意見交換を行なった。王晓萍・国務院華僑事務弁公室副主任、李心・省華僑事務弁公室主任、蔡朝林・副市長も同席（11月21日付『広州日報』）。

2. 市党常務委員会議の開催

●22日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、省党第11期第8回全体会議の精神を伝達し、それを貫徹・実行するための業務を手配した。また、「広州市が第18期五中全会、省第11期第5回全体会議、市党第10期第7回全体会議の重要な改革を貫徹するための措置実施計画（2016年～2020年）」について審議し採択（11月23日付『広州日報』）。

3. 改革の全面的な深化に関する市党指導グループ第12回会議の開催

●23日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、第18期六中全会、省党第11期第8回全体会議の精神を学習・貫徹し、中央・省の党改革の全面的な深化に関する指導グループによる関連会議の精神を伝達・学習した。また、「全面的なイノベーション改革の試みを系統的に推進することに関する広州市3か年アクションプラン（2016年～2018年）」等について審議・採択し、党の制度改革専任グループの状況報告を聴取し、次の業務について検討・手配した（11月24日付『広州日報』）。

4. 市党第10期第10回全体会議の開催

●24日、上記会議が開催された。同会議の主な任務は、第18期六中全会、習近平・総書記の重要講話の精神、省党第11期第8回全体会議の精神を深く学習・貫徹し、本年の広州市の主要業務について総括し、広州市における全面的に厳格に党を治めることに関する業務、来年の重点業務を手配し、市全体の幹部・群衆を動員し、習近平同志を核心とする党中央の周囲で緊密に団結し、広州市で全面的に厳格に党を治めること、各事業の発展に新たな局面を切り開いていくよう努力することである。任学鋒・市党書記が同会議を主宰し、「広州市党第10期第10回全体会議における決議」について表決し採択。第1回会議で任書記が市党常務委員会を代表し、業務報告を行なった（11月25日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 馬興瑞・市党書記が新世代液晶パネル製造企業を視察

●21日午後、馬興瑞・市党書記一行が華星光電技術有限公司を視察し、次のように強調した。電子情報先進製造業は、深圳市ひいては全省の将来的な発展に関わっており、同市の同製造業の発展を揺るぎなく推進していく必要があり、同企業の第11世代ライン等、代表的な重点工業プロジェクトが順調に進むよう全力で支持し、同市が国際科学技術・産業イノベーションの中心、「中国のシリコンバレー」となるために、強固なサポートを提供していく。一行は華星光電の新型液晶パネル生産ラインの建設状況を視察後、華星光電公司本部で李東生・TCL集团董事长から関連企業の経営状況を聴取した（11月22日付『深圳特区報』）。

2. 市政府常務会議の開催

●23日、許勤・市長主宰の上記会議が開催され、市政府が投資するプロジェクトの1月～10月までの進捗状況を聴取し、市の教育発展に関する第13次5か年計画等について審議し採択（11月24日付『深圳特区報』）。

3. 第4回「マルクス主義哲学の中国化」深圳フォーラムの開催

●26日午前、21世紀の中国マルクス主義哲学理論発展シンポジウム及び上記フォーラムが市党校で開催され、全国各地から専門家が集まり、“21世紀の中国でマルクス主義哲学を発展させていくこと”をめぐって、理論研究・討論が行われた。王偉光・中国社会科学院院長が書面報告を行い、畢京京・国防大学副総長が検討会に出席するとともに、講話を行なった。徐偉新・元中央党校副校長、周文彰・中国弁証法的唯物論研究会副会長、夏興有・元国防大学教育長も出席。李小甘・市宣伝部長が挨拶（11月27日付『深圳特区報』）。